

羽生市と一般廃棄物処理施設の共同整備に関する基本合意を締結しました

3月16日、市役所で、本市と羽生市による「一般廃棄物処理施設の共同整備に関する基本合意」の締結式を行いました。

これは、「2市で共同してごみ処理施設を建設すること」、「建設地は行田市大字小針地内とすること」などについて、合意したものです。

今後、新施設整備に向けて羽生市と共に事業を進めていきます。進ちょく状況は、適宜、市報ぎょうだや市ホームページでお知らせします。

▶問い合わせ 環境課(内線384)

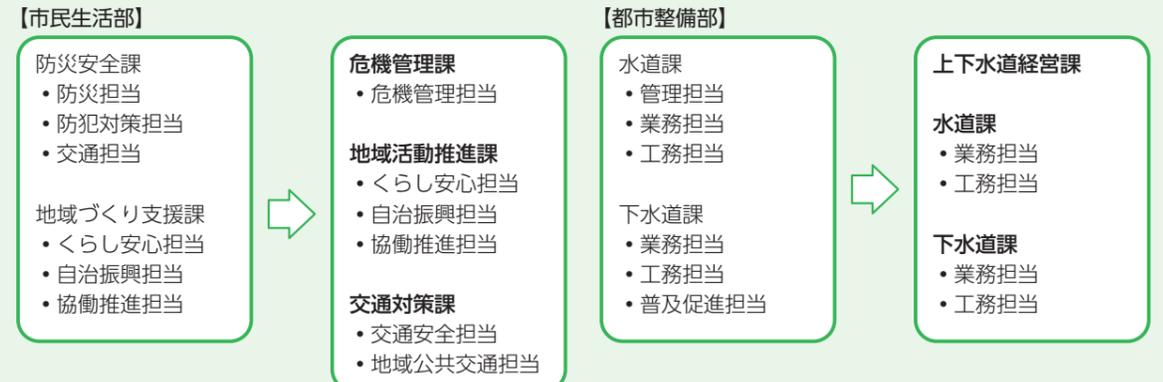


基本合意を締結した河田羽生市長(左)と石井市長

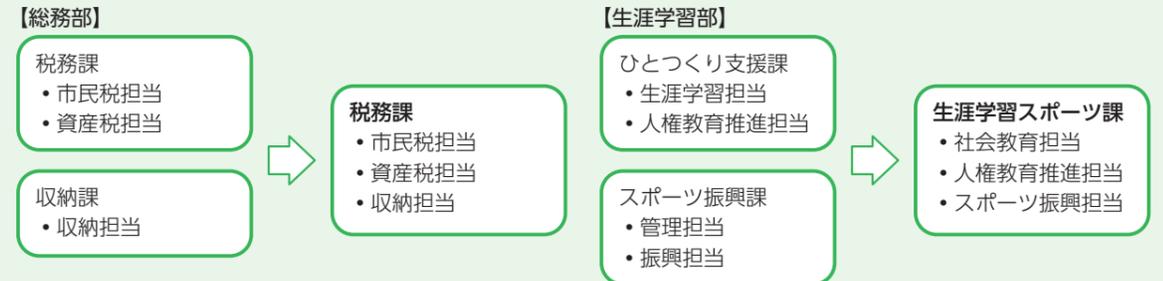
市役所および教育委員会の組織が一部変わりました

市民サービスの向上と効率的な事業の推進を図るため、市役所および教育委員会組織の一部を4月1日から次のとおり変更しました。

▶課の新設、課・担当の変更 行政課題の迅速な解決や円滑な施策推進のため、市民生活部に交通対策課を新設するとともに、部内の一部の課名、担当名の変更および担当の入れ替えを行いました。また、効率的な公営企業運営のため、都市整備部に上下水道経営課を新設しました。



▶課の統合 組織のスリム化を図り、より迅速かつ効果的に事務を執行するため、税務課と収納課を統合しました。また、教育委員会のひとつくり支援課とスポーツ振興課を統合し、生涯学習スポーツ課を新設しました。



▶担当名称の変更 地域住民や多様な主体が参画して共に地域を創っていく「地域共生社会」の実現に取り組むため、福祉課の「トータルサポート推進担当」を「地域共生社会担当」に変更しました。

▶担当制の見直し 機動的かつ柔軟な組織運営に向け、総合政策部および環境経済部において試行的に担当制を廃止し、担当にとらわれない協業体制で事務事業を進めています。

▶問い合わせ 企画政策課(内線308)

新型コロナウイルス感染症対策のための予算を措置しました

令和2年度3月補正予算で措置しました新型コロナウイルス感染症対策は、令和3年度に繰り越して事業を実施します。そのうち主な事業を紹介します。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 5億3,590万円

市民に対する新型コロナウイルスワクチンの接種を実施します。

電子申請システム導入事業 2,200万円

非接触で手続きが可能な電子申請システムを導入します。

公共施設予約システム導入事業 2,276万円

非接触で手続きが可能な施設予約システムを行田グリーンアリーナや産業文化会館など27施設で導入します。



テレワーク環境整備事業 1,773万円

テレワークシステムを導入し、職員の在宅勤務環境を整備します。

事業継続計画策定促進事業 1,032万円

災害時やコロナ禍における安定した事業の継続を目的として、事業継続計画を策定した事業者に奨励金を交付します。

児童福祉施設等感染拡大防止対策支援事業 1,681万円

児童福祉施設などが感染症の拡大防止のために、マスクやアルコール消毒液、感染防止備品などを購入する経費について支援します。



▶問い合わせ 財政課(内線325・326)

コンビニ交付利用促進事業 55万円

コンビニでの各種証明書取得の手数を引き下げ、コンビニ交付サービスを利用促進することで市役所窓口の混雑緩和を図ります(コンビニ交付の利用にはマイナンバーカードが必要)。



公共施設自動水栓化事業 1,304万円

行田グリーンアリーナや産業文化会館など7施設で非接触の自動水栓への交換工事を実施します。



小中学校感染拡大防止対策事業 2,240万円

学校における感染拡大防止のため、アルコール消毒液や空気清浄機などを購入します。

社会福祉施設等感染拡大防止用品配布事業 446万円

障害者施設や高齢者福祉施設、児童福祉施設などにおける感染症の拡大防止のため、アルコール消毒液などを配布します。

救急活動感染防止対策事業 1,208万円

救急車両車載用オゾンガス発生装置やマスク、感染防止衣などの感染防止資機材の充実を図ることで救急活動における感染防止対策を強化します。